

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学呼吸器外科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。福島県立医科大学附属病院での診療情報（カルテなど）の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026年 3月

福島県立医科大学呼吸器外科学講座 研究責任者 岡部 直行

■ 研究課題名

福島県立医科大学附属病院における降下性壊死性縦隔炎の後ろ向き観察研究

■ 研究期間

2026年3月～2026年12月

■ 研究の目的・意義

降下性壊死性縦隔炎（以下、DNM：首の感染が胸の中まで広がる感染症）は、首の感染（菌の感染、のどの炎症など）が、胸の中（縦隔）まで下がり広がる重い感染症です。治療では、たまった膿を出す処置（ドレナージ）や手術、抗菌薬が大切ですが、病気の広がり方に応じた治療のやり方は施設によって違いがあります。

この研究では、当院でDNMの治療を受けた患者さんの診療録やCT画像などを振り返り、病気の広がり方（Endo分類という分類）と、治療方法、治療の経過や結果（退院時の状態など）の関係を調べます。得られた結果は、今後の診断や治療をより良くすることに役立てます。

■ 研究対象となる方

2015年1月1日から2024年12月31日の間に、福島県立医科大学附属病院で、DNMと診断されて入院治療を受けた、18歳以上の方が対象です。

■ 研究の方法

この研究のために、新しく検査をしたり、治療を追加したりすることはありません。これまでの診療で記録された情報だけを使います。

使う情報：年齢、性別、持病、感染の原因、入院時の状態、血液検査（CRPやPCTなど）、CT画像の所見、治療内容（ドレナージ・手術、抗菌薬）、培養（原因菌）の結果、ICU/人工呼吸の有無、合併症、在院日数、退院時転帰（生存退院/転院/死亡）など。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年4月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学 呼吸器外科学講座です。研究責任者は呼吸器外科学講座 岡部直行です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学 呼吸器外科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

本研究で得られた情報を、他の機関や企業などへ提供することはありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部 呼吸器外科学講座 研究担当 猪俣 頌

電話：024-547-1252 FAX：024-548-2735

e-mail：syoinoma@fmu.ac.jp